

住民・行政・専門職がともにつくる 総合相談の展開

地域においてひきこもりやいわゆる8050問題を含め、制度の狭間や複合的な課題への対応が求められています。本セミナーは、地域住民と行政、専門職が協働してともに進める地域づくりのための視点について、取り組み事例から学び、県内の住民・行政職員・社会福祉専門職の実践力を高めることを目的に開催します。

参加費無料
先着300人

- 【日時】 2月19日(水) 13:00~16:40
- 【会場】 広島県医師会館 ホール
(広島市東区二葉の里三丁目2番3号)
- 【対象】 社協職員、行政職員、地域福祉活動者、
社会福祉施設・事業所、その他関心のある人

【講演】

「支え合いの地域づくりをめざして
～住民・行政・専門職がともにつくる総合相談の展開～」

身近な地域拠点による総合相談のプロジェクトをもとに、住民と行政、専門職の協働や地域づくりのプロセス、制度の狭間や複合的な課題を受けとめる際のポイント等について学びます。

◆講師 大阪市立大学大学院 生活科学研究科 准教授 野村 恭代



大阪市立大学大学院
生活科学研究科
准教授 野村 恭代

【実践報告】

「地域拠点を基盤にしたひきこもりの人や生活困窮者等への支援」

実際に身近な地域拠点づくりを進めている実践者による報告をもとに、地域拠点での取り組みの実際や協働のプロセス、取り組みを進めるためのポイント等について確認します。

◆報告者 【郡部】(社福)津別町社会福祉協議会 事務局長 山田 英孝 <北海道網走郡>
【都市部】うおざき障害者地域生活支援センター
地域支援機能強化専門員 前川 奈美子 <神戸市東灘区>

【パネルディスカッション】

「ひきこもりの人や生活困窮者に地域とともにどう寄り添うか」

ディスカッションをもとに、今後制度の狭間や複合的な課題への対応を進める地域づくりのために何が必要かについて考えます。

◆パネリスト (社福)津別町社会福祉協議会 事務局長 山田 英孝
うおざき障害者地域生活支援センター 地域支援機能強化専門員 前川 奈美子
(社福)尾道市社会福祉協議会 くらしサポートセンター尾道 主任相談支援員 高橋 望

◆コーディネーター 大阪市立大学大学院 生活科学研究科 准教授 野村 恭代



※この事業には共同募金財団が活用されています

▶FAX(082)256-2228 (広島県社会福祉協議会 地域福祉課 行)

E-mail : chiiki@hiroshima-fukushi.net /TEL(082)254-3414

申込締切：2月12日(水)

※送信にあたっての添書は不要です

令和元年度 生活困窮者自立支援推進セミナー 参加申込書

所属機関名 _____

記入者名 _____

No.	部署・職名	名前	属性※該当に○
1			社協 行政 福祉施設・事業所 民生委員児童委員 地域福祉活動者 その他()
2			社協 行政 福祉施設・事業所 民生委員児童委員 地域福祉活動者 その他()
3			社協 行政 福祉施設・事業所 民生委員児童委員 地域福祉活動者 その他()
4			社協 行政 福祉施設・事業所 民生委員児童委員 地域福祉活動者 その他()
5			社協 行政 福祉施設・事業所 民生委員児童委員 地域福祉活動者 その他()

※ この参加申込書に記載された個人情報、運営管理の目的のみに使用します。

※ 所属機関名、部署・職名は団体に所属している場合に記載してください

◆講師プロフィール◆ 大阪市立大学大学院 生活科学研究科 准教授 野村 恭代

大阪大学大学院人間科学研究科修了(人間科学博士)。専門社会調査士、社会福祉士、精神保健福祉士。研究テーマは「地域における相互支援型拠点活動の構築」「当事者としての経験に基づいた新たな担い手による地域福祉の展開」等。

2015年より北海道網走郡津別町において、身近な地域拠点を基盤に行政・社協・専門職と地域住民側の中核的担い手が協働し、支え合いによる総合相談体制を展開し問題解決にあたるプロジェクトに取り組む。都市型として神戸市東灘区魚崎地区での実践にも携わる。

主な著書に「地域を基盤としたソーシャルワーカー住民主体の総合相談の展開ー(2019)」「施設コンフリクトー対立から合意形成へのマネジメントー(2018)」等